

2023年12月24日 ベツレヘムで神の御子は誕生しました

クリスマスおめでとうございます。神の御子イエス・キリストはマリヤによってベツレヘムでお生まれになりました。

ところで、ベツレヘム近くで生涯を閉じたラケルという女性がいます。美しいラケル(旧約聖書・創世記29章17節)はイスラエルの祖先となったヤコブの愛を受けました。彼女は自分らしい人生を歩くために、姉や他の女性たちと壮絶な闘いをしました。

ラケルはイエスの母マリヤと同じように旅の途中で出産となり、激しい陣痛の痛みの中、ベツレヘムへの道のかたわらで生涯を閉じることになりました。創世記35章16～19節

そして旧約聖書ルツ記1章19節にはルツのベツレヘムへの旅が記されています。ルツは「モアブの女」と軽蔑された民でしたが、亡き夫の母ナオミと一緒に自分の故郷を離れてベツレヘムへと旅をします。驚くことに、ルツはこの地で出会う人たちと信仰と友情を育て、再婚し、祝福のうちに子を産み、ひ孫はイスラエルの王(ダビデ)となります。それは彼女が計画した人生ではありませんでした。神が彼女をモアブ人の間から選びだして祝福して下さったのです。

ベツレヘムで神の御子は誕生しました。天使は羊飼いたちに「私はこの民全体のためにすばらしい喜びを知らせに来たのです」と伝えます。キリストの誕生は「すばらしい喜び」だと…。しかし今日、みんながみんな喜びにあふれてクリスマスを迎えるわけではありません。

仕事を失った人、希望を持っていない人、病みつつ老いていく不安を持っている人、経済的に困難で子どもにプレゼントも買えない人…そのような方々にはクリスマスの喜びやお祝い会は辛すぎることです。「楽しそうに振る舞うことを求められてしまう」ことも辛いことです。

やがて御子イエス・キリストはそのような私たちに「疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。」と祝福されました。新約聖書・マタイ11章28節

● クリスマスは私たちに喜びをもたらしてくれます。今日の礼拝が会堂と家庭で結ばれていることを心にとめて、一年の神の赦しと慰め、戒めと希望を感謝したいと思います。

● 今日の礼拝後、クリスマス昼食会【お祝い会】が3階でありますからご出席下さい。このための担当者による予算、検討、準備などをありがとうございました。詳しくは西村兄とハンナ会の担当者より。

● 先日曜日(12/17)、日曜学校のクリスマス礼拝(10:00am)と午後はお祝い会(2:00pm)がありました。祝い会のために教師会、青年たち、参加下さった夫妻たちのお働きを感謝。賛美とクリスマスメッセージ、工作タイム、お菓子のつかみ取り、ティータイムなど。

● 来週の日曜日(12/31)は今年最後の礼拝です。今年は1/1(月)の元旦礼拝はありません。年末年始の予定の確認をしておきましょう。

● 晋一兄と義岩兄によって「1～3月礼拝/奉仕予定」が立てられますから感謝。

● オンライン礼拝のために、晋一兄、雄志兄、聖音兄、契悟兄のお働きに感謝します。

● 1/7(日)は新年最初の礼拝について、聖餐式と事務集会です。

● 1/7(日)の礼拝後、久しぶりの「餅焼き昼食会」が主人会担当・青年会協力であります。各自ご自分用にお餅と、会費200円。

● 1/4(木)の木曜集会はお休み。第2週(1/11)から始まります。

● 入院中の三澤隆男先生【船橋教会・柏伝道所】は面会が出来るようになりましたから感謝します。続けて熱いお祈りを。

● 2/5(月)、サウスサイド教会で中部(東海)地区牧師会の予定です。

● 寒い季節になりました。植物部(香佳姉)による毎聖日と平日の玄関前花々の手入は、教会前を歩く方々への心遣いにあふれています。

● 神学校【齊藤校長】から、神学生たちによるクリスマスカードが届いていますから掲示。● 若葉教会(埼玉県鶴ヶ島市・スミス牧師)派遣・鈴木しのぶ宣教師【台湾・東アジア】から「宣教報告2023年11月」です。掲示されています。